

新型コロナウイルス感染拡大に伴う総合文化研究科の対応指針*1

2020年4月6日

| レベル (本部判断) | 本研究科における ステージ | 総合 | 研究活動 | 授業（講義・演習・実習） | 学内会議 | 学生の課外活動 | 事務体制 | 入構制限 |
|---------------|------------------|-------|---|--|---|--|--|--|
| 0 | グリーン | 通常 | | | | | | |
| 0.5 | イエロー | 一部制限 | 感染拡大に最大限の配慮をして、研究活動を行うことができます。 | 感染拡大に最大限の配慮をして、対面授業・演習・実習を制限しつつ、オンライン講義を中心に授業を行います。 | 感染拡大に最大限の配慮をして、対面会議を行います。オンライン参加を推奨します。 | 感染拡大に最大限の配慮をして、多人数が集まる集会等を除く一定の課外活動を認めます。 | ほぼ通常どりの勤務形態 | |
| 1 | オレンジ | 制限-小 | 研究活動は続行できますが、感染拡大に最大限の配慮をしつつ、学生・研究員・研究スタッフ（研究室関係者）は現場での滞在時間を減らし、可能な場合は自宅で作業することを検討する必要があります。 | オンライン講義のみ (学内からの配信に制限はありません。) | 対面会議は必要最小限とし、移せるものからオンライン会議に移行します。 | 原則として禁止。ただし、真にやむを得ぬ理由でキャンパス内施設を利用する場合には事前に申請して許可を得てください。 | 時差通勤を奨励するとともに、業務の性質上、可能なものは、交代等により在宅で行う。一部の業務について、業務遅滞、事後処理を認める。 | 正門のみ開きます。入構には身分証の提示が必要です。 |
| 2 | レッドA*2 | 制限-中 | 現在進行中の実験・研究を継続するために必要最小限の研究室関係者のみの立ち入りが許可されます。立ち入る研究室関係者は現場での滞在時間を減らすとともに、それ以外の研究室関係者は自宅での作業となります。 | オンライン講義のみ (他に配信場所がない教員に限って、学内施設からの配信を認めます。) | オンライン会議のみ | 全面禁止 | 必要最小限の人数での交代勤務、その他の職員は在宅勤務とする。一部の業務について、中断、休止する。 | 正門のみ開きます。入構には身分証の提示が必要です。 |
| 3 | レッドB*2 | 制限-大 | 以下の研究スタッフ（事情によっては大学院生・研究員も可）の研究室への立ち入りが許可されます。 1) 中止することにより大きな研究の損失を被ることになる、長期間にわたって継続している実験を遂行中の研究スタッフ。 2) 進行中の実験を終了あるいは中断する業務に関わる研究スタッフ。 3) 生物の世話、液体窒素の補充、冷凍庫修理など研究材料の維持あるいはサーバーの維持のために一時的に入室する研究スタッフ。 | オンライン講義のみ (学内施設からの配信はできません。他に配信場所がない教員の授業は、開講母体の判断に基づき開講取りやめを認めます。) | オンライン会議のみ | 全面禁止 | 原則として職員は在宅勤務とする。時期変更が可能な業務について、中断、休止する。 | 正門のみ開きます。入構時には身分証を提示し、所定の様式（研究室に所属し研究活動に従事する学生・研究員等については様式1、教職員については様式2）を提出してください。 |
| 4 | レッドC*2 | 活動の停止 | 大学機能の最低限の維持のために、専攻長など組織代表者の許可の下で、生物の世話、液体窒素の補充、冷凍庫修理など研究材料の維持あるいはサーバーの維持などを目的に、一時的に入室する研究スタッフのみの立ち入りが可能です。 | オンライン講義のみ (学内施設からの配信はできません。他に配信場所がない教員の授業は、開講母体の判断に基づき開講取りやめを認めます。) | オンライン会議のみ | 全面禁止 | 職員は在宅勤務とする。在宅で処理できない業務は、中断、休止することを原則とするが、給与支給、学生のオンライン授業のために必要な業務など中断、休止できない業務は継続する。 | 緊急性の高い用務のみ入構を許可します。所定の書類（様式3）を事前に専攻長・系長等に提出して許可を受けてください。 |

(注) *1 本指針は、本部の新型コロナウイルス対策タスクフォース座長から示された指針に、本研究科の事情を勘案して所要の改訂を加えたものです。本部タスクフォースの指針については下記をご覧ください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/president/COVID-19-message-taskforce.html>

*2 これまで本研究科のステージはグリーン・イエロー・オレンジ・レッドの4段階でしたが、本部の指針に対応させるためステージ・レッドを細分化しました。原則として本部の判断するレベルに合わせて本研究科のステージを設定しますが、本部のレベル判断と研究科のステージ判断が必ずしも一致しない場合もありません。その場合は研究科のステージ判断を優先してください。

また、以前のお知らせでは、政府の緊急事態宣言が出されたらステージ・レッドに移行するとお伝えしていましたが、緊急事態宣言が出ていなくても本部の判断に伴いステージ・レッドになる可能性もありますので御留意ください。